

# 2兆5,500億円の無駄づかいと9年余の歳月を裁判所が追認！ 不当判決に抗議の声をあげよう！



辺野古新基地建設の軟弱地盤改良に伴う国の設計変更承認申請を沖縄県が不承認とした処分をめぐり、斉藤鉄夫国土交通相が行った「違法な国の関与」を取り消すよう県が求めた2件の訴訟で、3月16日、福岡高裁那覇支部(谷口豊裁判長)は「デニー知事が不承認とした妥当性」を否定する判決を下した。

国が設計変更承認申請を県に提出したのは、埋め立て承認(2013年12月)から6年後。一日も早い米軍普天間飛行場の危険性の早期除去は一向に進んでいない。それどころか裁判所は「完成までさらに約9年1カ月を要したとしても、普天間飛行場の危険性を早急に除去するという政策課題と整合しなくなったとは言えない」と判示した。

判決後、県代理人の加藤裕弁護士は「極めて残念。普天間基地周辺住民の安全を守ると言っておきながら、これだけずさんなことをやっている。新基地建設問題が地域の発展にとって支障が生じるということを指摘しているのに対して全く考慮しなかったという点では地方自治そのものを否定する判決だ」と述べた。

玉城デニー知事は同日夕方の記者会見で「裁判所の判断は地域住民を守るための知事の裁量を否定したものであり、到底納得できるものではない」として最高裁へ上訴する意向を示した。

判決後の集会で、県の訴訟を支える辺野古訴訟支援研究会の徳田博人琉球大学教授は「辺野古の闘いの本質は、誇りある地方自治の実現だ。誇りある地方自治、平和、人権保障、民主主義、環境保全、といった人類の普遍的価値を国家(国策)の名において侵害することは許されない。玉城知事を支え、住民による辺野古訴訟の原告の人々を支えることが、私たちの暮らしを平和にし、人権が守られ、誇りある社会を実現することにつながっている。そういう思いをもって、皆さんと一緒に頑張っていきたい」と今後の展望と決意を訴えた。

軟弱地盤の判明で辺野古新基地埋め立て事業は既に破綻している。コロナを乗り越え、物価高に苦しむ国民に対して貴重な国家予算を使うべき、2兆5,500億円もかかる完成の見通せない無駄な国策事業は今すぐ中止すべきだ。

## ご支援のお願い

日頃より当会へのご支援をいただき誠にありがとうございます。政府の設計変更承認申請(軟弱地盤埋め立て)への意見書提出の呼びかけには、県内外から沖縄県に2万件近く意見が提出されました。知事の不承認を支えるご協力に感謝申し上げます。

さて、辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議の運営活動費は、皆さまからの会費とご寄付によって支えられています。

どうか引き続き皆様のご支援をよろしくお願い致します。

### ◆県民大行動カンパ報告

1月7日(土) 162,985円

2月4日(土) 157,838円

3月4日(土) 120,152円

これまで合計440,975円の支援がありました。ありがとうございました。

## カンパ口座

ゆうちょ銀行 記号番号 01770-1-167836  
銀行振込の場合 一七九支店(179)当座0167836  
口座名称 辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議 ニュース 2023年4月1日号

〒900-0021 那覇市泉崎2-105-18 官公労共済会館B1  
Tel:098-894-6407 Fax:098-894-6417 E-mail:all.okinawakaigi@gmail.com

## TOPIC

うるま市島ぐるみ会議

## 「地域訪問署名活動」徹底へ ミサイル配備反対の 現地市民集會に 100人余が結集!

うるま市島ぐるみ会議は「地域訪問署名活動」を重点的に行う。宮城英和事務局長は「各自治会や地域漁協などに協力を依頼し、署名用紙を置いてもらった。二人一組で地域訪問行い一日で70筆を集めた日もある。市内を与那城・勝連、具志川、石川地域に区分けし、地域での訪問署名活動を徹底したい」と今後の活動方針を語った。

また、うるま市は独自の取り組みとして、3月21日、初めて陸自勝連分屯地前で「ミサイル配備反対の現地市民集會」を開いた。

集會では、大問題となっている保安林伐採の件についても現地で詳細な説明が行われた。ミサイル配備から命を守るうるま市民の会(昨年11月結成)の照屋勝則事務局次長は「市民100人余が参加した。リレートークでも市民の固い決意表明があった。近く住民説明会を開くよう中村正人市長へ抗議要請する」と市民不在の市政を強く批判した。



3月21日 うるま市ミサイル反対市民集會

## 署名推進いとまん実行委員会

## 高校生へ署名呼びかけ、 2日で100筆!

糸満市実行委員会は、3月22日に沖縄水産高校、24日に糸満高校の正門前で登校前の45分間を利用し「早朝街頭署名活動」を行った。同実行委の大城規子代表代行は「未来の担う子どもたちに一番関心を持ってもらいたい」と意義を語った。署名は両校で100筆あまりが集まった。

## シンポジウムのお知らせ

## 辺野古裁判と 誇りある沖縄の自治 — 裁判の今とこれから —

2023.4.22[土]

13:30(開場) 14:00~16:30

会場:琉球新報ホール

司会:白藤 博行氏(専修大学名誉教授)

◇開会のあいさつ 徳田 博人氏(琉球大学教授)

◇共催あいさつ

高里 鈴代氏(オール沖縄会議共同代表)

◇変更不承認処分についての高裁判決の問題点

と最高裁への展望 加藤 裕氏(弁護士)

◇辺野古問題と司法

紙野 健二氏(名古屋大学名誉教授)

◇パネルディスカッション

司会:本多 滝夫氏(龍谷大学教授)

登壇:加藤 裕氏、紙野 健二氏

立石 雅昭氏(新潟大学名誉教授)

川津 知大氏(弁護士)

岡田 正則氏(早稲田大学教授)

◇玉城デニー知事あいさつ

シンポジウム当日、琉球新報ホールより「オール沖縄会議のYou Tubeチャンネル」で生配信を行います。当日配信用のQRコードはこちらです。



主催:辺野古訴訟支援研究会 共催:オール沖縄会議

## 国会請願署名 集約状況

オール沖縄会議(国会署名実行委員会)が取り組む国会請願書署名(自筆)は、3月31日(金)現在、以下の筆数が集まりました。

国会請願署名は、日本にお住まいの方であれば国籍・年齢を問いません。直筆による署名が原則です。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

県内合計: 49,988 筆

県外合計: 159,909 筆

総計: 209,897 筆

オール沖縄会議  
ホームページ  
国会請願署名  
特設サイトページへの  
↓リンクはこちらから↓



国会請願署名・オンライン署名の締切りを延長しました。締切5月19日まで